

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>リーフレット・パンフレットにて情報を発信している</p> <p>「子どもたちの明るい未来に向かって」と題したA4三つ折りのリーフレットを作成しており、見学者や関係者への説明用ツールとしている。保育所の概要からはじまり保育内容、基本理念、年間計画、タイムスケジュール、見取り図等園を知ることができる構成となっている。またホームページは誰もが見やすいよう改訂しており、リーフレットの内容に加えてカラーの写真にて様子を伝えるなどよりわかりやすい内容となっている。</p> <p>簡易アルバムは保育所の特徴を表すツールとして機能している</p> <p>子どもたちの日々の様子や活動をおさめた簡易アルバムが作成されており、保育所の特徴を把握するためのツールとなっている。文字や言葉で説明するよりも子どもたちの実際の姿や成長を見ることで保育方針や理念が伝わるものとして機能している。また行政や各種連絡会を通して協力関係を築いており、長年の貢献から信頼や尊敬の念を集めている。</p> <p>子どもたちの活動の様子がわかるよう園見学を実施している</p> <p>利用希望者の見学については、人数の限定、見学者の予定を考慮しながら進めている。特に子どもたちの活動の様子がわかるよう午前中に来訪してもらい、園の方針を理解してもらえるよう努めている。また外国籍の方には翻訳機を使用して説明するなど配慮に努めている。実際に入園する方だけでなく、地域にある子育て相談ができる場所として認識してもらえることをこころがけて取り組んでいる。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>入園時には子どもにとっての環境整備や支援について促し、説明している 入園時には重要事項説明書を用いて今後の保育や過ごし方の説明をし、理解を得られるよう努めている。また保護者の就労の都合だけでなく、子どもにとってどのような環境を整えてあげることができるかについて考えてもらえるよう促している。入園時には必要書類を提出してもらい、子どもの特性を把握したうえで迎え入れられている。</p> <p>園全体で迎え入れられるようコミュニケーションを図っている 入園後まもなくは保護者・子ども双方の不安を払拭できるよう配慮に努めている。約2週間の慣らし保育のスケジュールを組み、各家庭の事情や子どもの健康状態を考慮しながら柔軟に進めている。管理者や担当職員だけでなく、園全体で迎え入れられるよう声掛けや挨拶などでコミュニケーションを図るよう取り組んでいる。</p> <p>連携園の増加についても検討している 区認可小規模保育事業所として0歳から2歳までの子どもたちの保育を実施しており、毎年度卒園生を排出している。卒園生の進路は認可保育所、幼稚園等であり、それぞれの希望により進められている。卒園後の受け入れ先として一園と連携しているが、保護者の希望や要望を考慮しながら連携園の増加についても検討している。</p>		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	13/13
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄り等話し合う機会を設けている	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
<p>「ねらいと内容」「配慮」について定め、保育の指針となるよう設定されている</p> <p>全体的な計画は領域ごとに目標を定め、地域交流や食育などの目標も盛り込まれている。またこれらは年齢ごとの年間指導計画に落とし込まれており、特に0歳児については2から3か月ごとの月齢に対して「ねらいと内容」「配慮」について具体的に定め、保育の指針となるよう設定されている。</p> <p>反省と評価から細かな観察と個々への対応等を理解することができる</p> <p>卒園後も含め、子どもたちの将来のための保育が実践されており、「修了時まで育てほしい姿」として10の目標が設定されている。また年間指導計画は期ごとに反省と評価が付されており、これらから子どもたちへの愛情と細かな観察、個々への対応が実践されていることが理解できる。</p> <p>子どもたちの様子や連絡事項を記録し、確認と保管がなされている</p> <p>日誌には日々の子どもの様子や連絡事項を記録し、確認と保管がなされている。各種書類は手書きとシステムの利用が並行されており、職員や業務の都合によりバランスを図っている。また保護者とのコミュニケーションは連絡帳でなされており、子どもたちの家庭での様子がわかるよう工夫した書式が使用されている。手書きによる日々のやりとりは温かみがあり、卒園後も思い出として・子どもたちの成長の証しとして残るものとなっている。</p>			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報取り扱いについて重用事項説明書への記載と同意書の提出がなされている 重用事項説明書には個人情報の取り扱いについて項が設けられており、同意を得ない第三者提供の禁止などが謳われている。本書については入園時に保護者からの同意書を提出してもらい、理解の確認がなされている。関係機関への相談などは面談時に再度確認をとるなど、適切な対応に努めている。</p> <p>意思の尊重、生活習慣への配慮については話し合い等を通して実践している スペースが限られた中でも排せつやおむつ替え等については子どもの羞恥心や自尊心に配慮するよう努めている。子どもの意思の尊重や家庭での生活習慣への配慮については、在籍の長い職員による連携、園内研修等での研鑽、日々の保育の中での話し合いにより実践している。</p> <p>家庭とのやりとりを通じて子どもたちの一日全体の姿の把握にあたっている 保育者と保護者・子どもにとって関係性の構築は不可欠であり、信頼を中心に据えた運営に努めている。特に保護者支援に注力しており、国籍の違いなどを超え、気さくに声をかけ寄り添える姿勢に取り組んでいる。また朝や着替え時の視診を通して子どもたちの健康状態を確認し、家庭とのやりとりを通じて子どもたちの一日全体の健康や栄養摂取把握にあたっている。</p>			

サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(○○●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
○あり ●なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ-6の講評		
リスク管理マニュアル等安全確保のためのツールが設定されている 事故対応・プール活動時などのリスク管理マニュアルが設定されており、子どもたちの安全確保のためのツールとしている。また公的機関等によるガイドラインを取得し、それらをもとに標準化が図られており、園に適したものと改編するよう順次進めている。被災時事業継続計画(BCP)については今年度中の完成を予定している。		
認識の共有と徹底を図っており、適切な保育実践に取り組んでいる 全体的な計画等は必要時に見直しをしており、年齢ごとの年間指導計画は反省と評価をもって振り返りがなされている。また週間指導計画については天候などを考慮して柔軟にプログラムが変更されており、園とクラスの健康や発達への考慮を理解することができる。定期での職員会議を通して認識の共有と徹底を図っており、適切な保育実践に取り組んでいる。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
評点(○○○○●)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
○あり ●なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの姿とねらいを意識して一人ひとりの保育と計画が実践されている 連絡帳でのやりとり・送迎時のコミュニケーションを含め家庭との連携により子どもたちの一日の様子を把握し、子どもの全体の姿を意識した保育となるよう努めている。また月間指導計画による個別の計画、週間指導計画による活動の記録はともに子どもの姿とねらいをもって策定されており、両計画からその実践を確認することができる。</p> <p>子どもたちのサインを汲み取る・見逃さないことで主体的保育を進めている 主体性を尊重した保育とは、子どもたちの発するサインを汲み取る・見逃さない、意思を把握することであるとの認識のもと、遊びの場面においても子どもたちが興味を示せるよう視界に玩具等を置くなど設置や動線への配慮に努めている。職員には子どもたちの目線に立つことの重要性を説いており、特に0歳児については職員配置にゆとりを持たせることでその実践を図っている。</p> <p>家庭と園との生活で混乱することのないよう取り組んでいる 外国籍の子どもたちも入園しており、保護者が抱く不安に寄り添いながら対応を図っている。食事や風習にもできる限り配慮し、また子どもたちが家庭と園との生活で混乱することのないよう取り組んでいる。また子ども同士のトラブルについてはその要因を追究し、家庭への説明、保護者と子どもとの関係性についても考慮しながら対応に努めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>送迎時のコミュニケーションを中心に家庭と連携を図り、確認している</p> <p>送迎時のコミュニケーションを中心に家庭と連携を図り、子どもたちの一日全体の姿を確認しながら園での生活が健やかになるよう取り組んでいる。また連絡帳の24時間デیلیーにより食事・睡眠等を確認し、一日全体を把握するよう・バランスのとれた生活となるよう努めている。連絡帳は手書きによりあたたかなやり取りがなされており、卒園後も記録や思い出として残るものとなっている。</p> <p>信頼関係・愛着形成を育みながら生活習慣の習得に取り組んでいる</p> <p>0歳児については個々の発達にあわせた離乳の完成・歩行の開始・発語への意欲を年間指導計画の目標に掲げており、生活習慣の習得については子どもたちの発達・発育に応じて柔軟に対応している。トイレトレーニングについては子どもたちの興味を引き出し、自らやってみようという意思を大切にしている。職員との信頼関係・愛着形成を育みながら意思や欲求を表現できるよう援助に取り組んでおり、また個々に注目するだけでなくクラス全体として頑張っている姿勢を伝えるよう努めている。</p> <p>子どもたちの健康を優先した生活となるよう保育に努めている</p> <p>子どもたちが安全かつ健康に過ごせるよう子ども一人ひとりの発達、家庭での生活について配慮に努めている。特に午睡については家庭からの強い要望はないものの、子どもたちの健康を優先した生活となるよう保育に努めている。全体的な計画においても長時間保育について項を設けており、家庭との伝達・個々の状態に即した配慮への注力が謳われている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>日誌・週間指導計画の活動記録等から自発性への配慮を理解することができる。</p> <p>子どもの要求や関心の汲み取りにより玩具の入れ替えを行い、子どもの自発性を尊重した環境形成に努めている。またこれらを誘発できるように職員があそびを提案するなど子ども一人ひとりの月齢や発達にあわせられるよう考察を進めている。日誌・週間指導計画の活動記録等からその個別への配慮を理解することができる。</p> <p>言葉のやりとりの楽しさを学べるよう環境構築に努めている</p> <p>職員や子どもたち同士の会話から言葉のやりとりの楽しさを学べるよう環境構築に努めている。特に職員との信頼関係構築と他児との関わり方への仲立ちを重視しており、その実践に努めている。さらにその充実を図るべく職員の育成と向上にあたっており、研修の活用・会議での指導等に取り組んでいる。</p> <p>プール活動の時期を拡大するなど環境への配慮をもって対応している</p> <p>畑での栽培、近隣への散歩、恵まれた園庭を活かした戸外活動に注力しているものの、猛暑など環境を考慮した活動を余儀なくされている。今夏は特に配慮が必要であったため、プール活動の時期を拡大するなど対応がなされている。またプール活動については監視人員の配置、マニュアルの設置等を通して安全に行われるよう取り組んでいる。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>季節や伝統、共同の意識を大切にしながら行事が進められている</p> <p>年間で行事を設定しており、お花見、節分、ひなまつりなど季節や伝統を大切にしながら進められている。またクリスマス・ハロウィンなどは保護者の参加も募り、一緒に楽しめるよう工夫している。年間行事を早期に伝え、子どもたち・保護者・職員がともしつくりあげていけるよう雰囲気づくりに配慮している。</p> <p>日々の遊びや活動を積み上げた結果となるよう・楽しめるよう取り組んでいる</p> <p>非日常を取り入れつつも、乳児向けとして日々の遊びや活動を積み上げた結果となるよう・楽しめるよう取り組んでいる。来年度は開設から50周年を迎えることから記念行事の開催、秋祭りの開催を検討しており、卒園生や関係者を含めて地域と一緒に祝えるような企画となることが期待される。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもたちの健康にとって大切なことをことを促しながら家庭との連携に努めている</p> <p>園での生活だけでなく家庭での生活に対しても留意し、朝食の摂取・睡眠時間・デジタル機器への配慮など子どもたちの健康にとって大切なことをことを促しながら連携に努めている。また静の活動だけでなく、時に気持ちの発散や遊びのチャレンジができるよう設定し、状態や状況にそった保育となるよう努めている。</p> <p>家庭的な雰囲気を持続をもって環境整備がなされている</p> <p>保育時間が長時間にわたる子どもは少ないものの、家庭的な雰囲気を持続をもってゆったりとした気持ちで過ごせるよう環境整備がなされている。職員同士の連携や情報伝達をこころがけ、朝から夕方保育の継続に取り組んでいる。情報伝達に対してはさらなる精度の向上に意欲をもっている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p>さつまいもの栽培など植物とのかかわりを通して食育が進められている。</p> <p>子どもの成長と健康にとって「食」の大切さを認識しており、全体的な計画等での立案からもその注力を理解することができる。しっかりと味わう・多様な食材を食す・季節感を味わうなどを意識した保育を実践している。特に園内の畑でのさつまいも・ゴーヤの栽培と収穫など植物とのかかわりを通して食育が進められている。</p> <p>月齢・年齢等にあわせて形態や雰囲気づくりに努めている</p> <p>月齢・年齢ごとに形態や雰囲気づくりがなされており、離乳食やその完了にあたって楽しむことと子どもの意欲を大切に保護者との確認や連携をもって取り組んでいる。また食物アレルギーをもつ子どもに対しても除去食・代替食などにて対応している。入園前の医師と保護者の確認などについてはさらに協力や推進を図る意向をもっている。</p> <p>多様なメニューと子どもたちの食欲に配慮した食事提供に努めている</p> <p>栄養士を中心にバランスのとれた献立策定に取り組んでおり、多様なメニューと子どもたちの食欲に配慮した食事提供に努めている。一か月の献立は、無農薬野菜や添加物への配慮など独自の工夫により行われており、自園での調理にこだわり進められている。隣接した調理室と直結した食事提供と観察により子どもたちの発達にあわせた形状や温かさが配慮されている。</p>			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
評価項目7の講評			
<p>担当を中心に全職員で衛生と環境整備に取り組んでいる</p> <p>業務分担において衛生管理担当職員を配置し、園全体の環境整備に取り組んでいるものの、園舎内外の清掃・保全、環境衛生およびその保持については全職員が担当していくことが謳われている。特に調理・沐浴などは留意し、室内外の設備・用具の点検、職員の細菌検査などをもってその維持と拡充にあたっている。</p> <p>チェックと確認により安全な午睡の実施に取り組んでいる</p> <p>午睡時は定間隔でのチェックと確認がなされており、業務支援ソフトを使用して記録と保管がなされている。家庭での睡眠の状況についても連絡帳の24時間ダイアリーにて確認し、子どもたち一人ひとりの健康状態を把握して休息をとるなど対応にあたっている。家庭での睡眠や栄養摂取も園での生活同様に大切であり、その旨を保護者に伝えながら協働での子育てを進めている。</p> <p>マニュアルの設定等感染症蔓延防止に対応している</p> <p>リスク管理として感染症対応・アレルギー対応マニュアルを整備しており、職員全員への周知をもって安全な環境維持に取り組んでいる。新型コロナウイルスなど感染症については保護者との連絡、健康管理の依頼等により行われており、家庭との連携をもって実施されている。</p>			

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>情報の把握と寄り添う姿勢をもって保護者支援にあたっている</p> <p>各家庭の就労等状況は多様であり、入園時のアセスメントをはじめ情報の把握と寄り添う姿勢をもって対応にあたっている。外国籍の保護者に対しては翻訳機を使用するなどできる支援にあたり、園の方針や保育への理解が進むよう取り組んでいる。通園が困難になった場合も配慮により継続するなど子どもだけでなく保護者へのアプローチも本園の特長といえる。</p> <p>保護者も参加し、楽しみながら行事が実施されている</p> <p>多様な行事が設定されており、ハロウィン・クリスマスなどは保護者も参加し、楽しみながら実施されている。実際の保育の様子を見て子どもたちの成長を確認してもらえる機会となるよう取り組んでいる。入園時も日々の活動を見てもらい、雰囲気や伝えられるよう努めており、さらにホームページやパンフレットなどツールへの表記も加えていく意向をもっている。</p> <p>送迎時のコミュニケーションを中心に家庭と連携を図っている</p> <p>送迎時のコミュニケーションを中心に家庭と連携を図り、子どもたちの一日全体の姿を確認しながら園での生活が健やかになるよう取り組んでいる。また連絡帳により食事・睡眠等を確認し、24時間デイリーでの把握によりバランスのとれた生活となるよう努めている。連絡帳は手書きによりあたたかなやり取りがなされており、卒園後も記録や思い出として残るものとなっている。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>積極的に外出し、公園など社会資源の散策に取り組んでいる</p> <p>自園にスペースを有した園庭があり、多様な活動が可能なの、積極的に外出し、公園など社会資源の散策に取り組んでいる。また新型コロナウイルス禍前は近隣の高齢者施設との関わりをもっていたが、先方への配慮から現在は中断しており、様子を見ながら再開をしていく意向をもっている。</p> <p>ネットワークや交流を活用し、地域連携を進めている</p> <p>区の小規模保育事業者の連絡会に参加しており、意見交換等にて活用している。また近隣小学校とは合同の避難訓練に参加するなど地域との協調に努めている。連携園とは卒園児の進路や遊具の使用などで協力を仰いでおり、現在連携園が1園のため、保護者の意向やメリットを考慮し、増やしていくことを検討している。</p>		